

ALPS 処理水希釈放出設備 現地確認結果 報告書(概要)

確認年月日	令和5年9月13日(水)	確認目的	海洋放出終了後のALPS処理水希釈放出設備点検状況の確認
-------	--------------	------	------------------------------

確認箇所	ALPS処理水移送配管、多核種移送設備建屋		
------	-----------------------	--	--

確認設備	<input type="checkbox"/> 測定・確認用設備	<input checked="" type="checkbox"/> 移送設備	<input type="checkbox"/> 希釈設備	<input type="checkbox"/> その他
------	-----------------------------------	--	-------------------------------	------------------------------

第1回目の放出が8月24日から9月11日に実施され、放出終了後はALPS処理水希釈放出設備の点検が行われることとなっている。本日は、ALPS処理水移送ポンプ点検作業が実施されており、その状況を確認した。

また、9月6日にALPS処理水希釈放出設備の移送配管において、屋外ベント弁フランジ部の漏えい警報が発生した。東京電力は調査のために当該部分を開放し、ALPS処理水が漏えいしたのではないことを確認した。その後、弁保温材の復旧作業が行われていたことからその状況を確認した。

【ALPS処理水希釈放出設備の点検状況】

- ・ 12日にかけて処理水移送ポンプの入口にあるY型ストレーナ※の洗浄、交換が行われ、本日は水張り作業を行っているとのことだった。(写真1)
- ・ Y型ストレーナ周囲の配管フランジ部から水漏れがないか確認を行っていた。(写真2)
- ・ 上記の確認後、配管に結露防止用の仮保温材を取り付け、仮復旧していた。(写真3)

※Y型ストレーナ：ごみ、異物を捕集するための配管部品。本構成ではポンプに異物が入るのを防ぐために設置されている。

【ALPS処理水希釈放出設備移送配管ベント弁の状況】

- ・ 東京電力職員の立ち会いの下、委託作業員数名が、漏えい検知器が反応した弁の保温材を復旧していた。(写真4)

確認結果

 <p>ベント弁</p>	 <p>Y型ストレーナ</p>
<p>(写真1) 配管水張り作業の状況</p>	<p>(写真2) Y型ストレーナ周囲の水漏れ確認の状況</p>
 <p>仮保温材</p>	 <p>保温材</p> <p>ベント弁</p>
<p>(写真3) Y型ストレーナ配管の仮復旧状況</p>	<p>(写真4) ベント弁の保温材設置の状況</p>